

# 仙台市営バスの財政課題と解決案

宮城県仙台第三高等学校 普通科

## 要旨

本探究は、仙台市営バスが抱える赤字問題を少しでも解決すべく進めてきたものである。私たちは仙台市交通局への訪問、宮城の観光名所・瑞鳳殿付近のバス停調査、大阪シティバスと交通システム研究所への訪問を通して財政赤字の原因を探り、利用者数の増加に目を向け、さまざまな観点から解決案を考えてきた。

## 1 はじめに

### 1) 背景

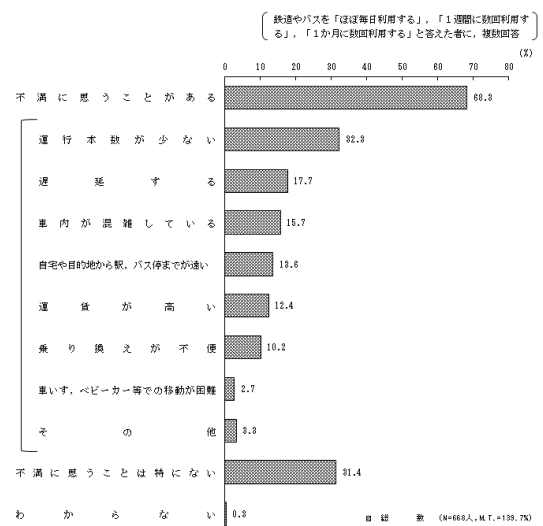
私たちは、本校仙台第三高等学校の多くの生徒がバスを利用して通学していること、また自身が普段から頻繁にバスを利用していることから、バスについて関心を持ち始めた。そこで、利用者にとってより快適なバスを考え、提案することを目標に探究活動を始めた。

### 2) 事前調査

はじめに、私たちは内閣府が行っている公共交通に関する世論調査を調べた。調査の結果、普段からバスや地下鉄を利用していると答えた688人中、68.3%の人が不満を持っていることが分かった。また、不満の内容として、「運行本数が少ない」「遅延する」「社内が混雑している」などの意見が多く挙げられた。

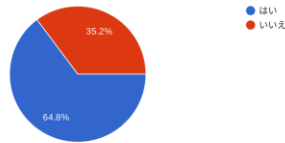
次に、私たちは三高生125人にアンケートを取り、現行のバスシステムに不満を持っている人がどれくらいいるのか調査した。調査の結果、64.8%の人が不満を持っていることが分かった。また、不満の内容についても事前調査と同じような結果が得られた。

図3 鉄道やバスに感じる不満

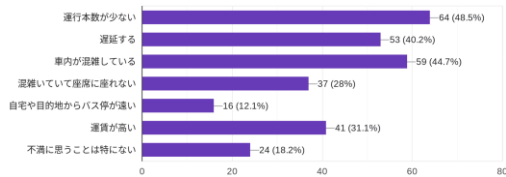


\*図1 平成28年度 内閣府「公共交通に関する世論調査」より

3, 現在のバスに不満はありますか。  
125 件の回答



4, バスに乗るときに感じる不満として当てはまる...以下の選択肢から選んでください。(複数回答可)  
132 件の回答



### 3) 事前調査のまとめ

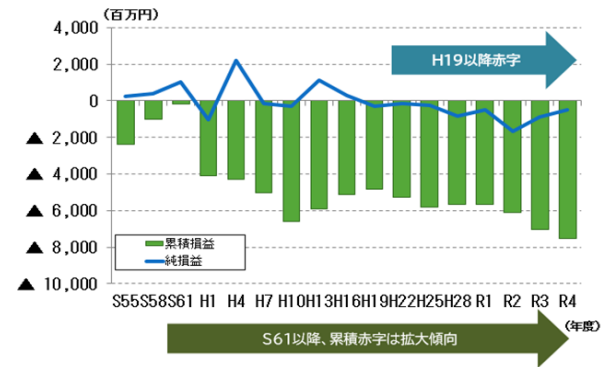
これらの調査より、世論調査と同様に、宮城県のバスシステムについても不満を抱いている人が多いことが分かった。また、不満の内容について多くの人から挙げられた「運行本数が少ない」「遅延する」「車内が混雑している」という課題を解決することで、利用者にとって快適なバスを作ることができる考えた。

一方で、近年仙台市営バスの営業収支は赤字が続いており、現状のバスシステムを改善するには費用が足りないという問題に直面した。そこで、私たちは探求の目的を仙台市営バスの赤字問題の解決に変更することにした。

## 2 調査

### 1) 仙台市営バスの現状

\*図2 仙台市交通局「経営改善に向けた取り組み」よ



り

グラフより、仙台市営バスの純損益は昭和 61 年から平成元年にかけて大きく低下し、平成元年から 4 年にかけて再び大きく増加していることが読み取れる。昭和 61 年から平成元年にかけての大幅な低下は、昭和 62 年の地下鉄南北線開通によりバスの利用者が地下鉄へ流れてしまったためであると考えられる。また、平成元年から 4 年にかけての大幅な増加は、仙台市営バスが土曜休日のダイヤ実施を開始したためであると考えられる。一方で、累積赤字は昭和 61 年以降拡大しており、純損益についても平成 19 年以降続いているのが現状である。

### 2) 仙台市交通局への訪問

私たちは赤字問題を解決する手がかりを得るために、仙台市交通局を訪問した。そこで、実際に仙台市交通局が経営改善に向けて行っている取り組みについて伺った。

#### ①路線の削減

運行ダイヤは人の動きに合わせて毎年改正されている。近年は運転手人材の不足や利用者数の減少によって、3 年連続で減便が続いている状況である。令和 6 年 4 月から実施されたダイヤでは、全 44 路線中 30 路線にて、前年度より計 107 便削減

された。鶴ケ谷三丁目参考前のバス停を通る鶴ケ谷・南光台線でも計 22 便削減されている。

維持していくために、近年は減便や運賃の値上げが積極的に行われている状況である。

	R5.4 現在	R6.4 改正後	増減数	増減比
週平均 (km/日)	32,537.0	31,615.9	▲921.1	▲2.8%
週平均 (便/日)	3,262	3,155	▲107	▲3.2%

令和 6 年 4 月ダイヤ改正による週平均営業キロ・便数の変化

※図3 仙台市交通局「「令和 6 年 4 月市バスダイヤ改正の概要について」より

## ②運賃の値上げ

仙台市営バスは令和 7 年 10 月より、運賃を平均 15%値上げする方針を発表している。このような取り組みは資金不足比率の抑制につながっている一方、利用者の負担が重くなることでさらに利用者数が減少してしまう懸念もある。

仙台市交通局はこれまで、厳しい経営状況下においても学都仙台フリーパスの販売など増客、増収に向けた取り組みを実施することで、できるだけ減便を行わず運賃を据え置き、利用者の負担を増加させないよう努めてきた。しかし、費用の削減も限界に近づいている中で、路線を

## 3) 瑞鳳殿付近のバス停調査

私たちは仙台市交通局で、近年 SNS で話題になった観光地で外国人観光客の利用が増えているという話を伺い、宮城の観光名所である瑞鳳殿付近のバス停を調査することにした。



調査の結果、写真のような英語表記の簡易マップは存在したが、時刻表は日本語表記のままだった。また、実際に仙台駅前から霊屋橋・瑞鳳殿入口まで仙台市営バスを利用して移動してみて、特にバスターミナルのバス停が見つけれずらいと感じた。このことから、現状の市営バスは外国人観光客にとっては利用しづらいと考えられる。

## 4) 修学旅行での企業訪問

### ①大阪シティバスへの訪問

大阪シティバスはこの 2 年間黒字決算を維持しており、昨年度は約 3 億円の営業利益を獲得している。そこで、大阪シティバスが利用者数を維持するために行っている工夫を知り、仙台市営バスの赤字問題の解決案の参考にしたいと考え、訪問することにした。

大阪シティバスが行っている取り組みの 1 つがオンデマンドバスの運行である。オンデマン

ドバスとは、規定の経路や時刻表が無い予約型のバスで、近年多くの地域で導入が進んでいる。大阪シティバスは**2021**年に生野区・平野区の**2**つのエリアで運行を開始し、現在は大阪市内の**8**つのエリアに展開して運行している。

大阪シティバスのオンデマンドシステムは、利用者が電話や**LINE**、専用のアプリにて予約をすると、**AI**が生成する最適なルートに従って、利用者に近い乗車場所にバスが到着するという仕組みである。利用者がいない便を走らなくて済むため、燃料や人件費といった費用を節約できる他、定期便の維持が困難な過疎地では小規模の運営で対応できるというメリットがある。一方で、柔軟性がある反面一定の利用者がいないと持続が難しいことや、システム整備やアプリ開発といった導入コストがかかるというデメリットもある。

## ②交通システム研究所への訪問

交通システム研究所では、仙台と他の地域の交通システムの特徴について伺った。仙台の交通網は、中心集約型であり、横のつながりが弱いという特徴がある。公共交通機関の多くが仙台駅を経由する構図になっており、そのため地下鉄や電車などの所有時間が短い交通機関へ人が流れてしまう。

また、海外では多くの公共交通でクレジットカードによるタッチ決済が主流になりつつある。日本でも近年各地で実証実験が行われており、**2024**年**10**月より仙台市営バスが運営する観光周遊バス「るーぶる仙台」においてもタッチ決済を試験的に導入している。クレジットカードやスマホ決済端末によるタッチ決済は現金やチャージを必要としないため、より気軽に乗車することが可能であり、また降車の際の混雑も避けられる。

## 5 解決案

私たちは、調査の1)で仙台市営バスの営業収支は平成**19**年以降赤字が続いており、累積赤字が大きくなっていること、調査2)で仙台市営バスは赤字に対し路線の削減や運賃の値上げといった取り組みを行っているが、利用者の負担が重くなってしまうため、新たに利用者数を増やせるような取り組みが必要であることを確認した。また、調査3)と4)にて、現在のバスシステムは外国人観光客にとって利用しづらいという問題があることや、黒字決算を維持する大阪シティバスの取り組み、仙台の交通網の特徴を学んだ。これらの調査をもとに、私たちは仙台市営バスが多くの利用者を獲得し、今後も運行を維持していけるような解決案を考えた。

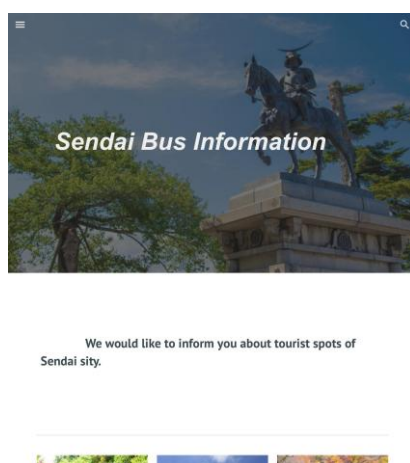
### 1) 乗車制度の宣伝

仙台市営バスにはさまざまな乗車制度や乗車園が存在する。例えば、土・日・祝日に市営バスの定期券を持っている家族と乗車した際に、大人は**100**円、子どもは**50**円で利用できる「環境定期券制度」や、市中心部の一定区域内の運賃を**120**円均一で乗車できる「**120**円パッ区」がある。しかし、実際に生徒や先生にこれらの制度を宣伝した結果、認知度が高くないことが分かった。そこで、これらの制度を宣伝するポスターを作成し、鶴ヶ谷地区を中心に掲示することを考えている。



## 2) バス停やバスターミナルの簡易化

調査3) より、現在のバス停やバスターミナルは複雑で利用しづらいことが分かった。また、外国人観光客の利用を増やすために多言語での案内が必要であると感じた。そこで、バス停からの経路を分かりやすくする取り組みや、多言語での時刻表の開発を提案したい。具体的には、バスターミナルにより大きな地図を掲示することや、地下通路にバス停への経路マップを貼ることで、地下鉄からバスへの導線を作ることが挙げられる。また、私たちは外国人観光客がより簡単に市営バスを利用して観光地まで移動できるよう、英語表記のサイトを作成した。下のQRコードをスマートフォンなどで読み込むと、英語表記の時刻表や観光地からバス停留所までの経路を確認できるようになっており、外国人観光客が簡単にバス情報を取得できるようになっている。



## 3) タッチ決済の導入

調査4) にて、海外ではタッチ決済が主流であり、日本でも導入が進んでいることが分かった。クレジットカードやスマホ決済端末によるタッチ決済が実現すれば、より気軽に乗車できるため、利用が増えると考えます。そのため、現在実証実験が行われている「るーぷる仙台」だけでなく、市営バスにおいても本格的に導入することを提案したい。

## 6 終わりに

利用者にとって快適なバスを作りたいという思いから探究活動がスタートしたが、赤字問題に直面しテーマを変更するなど、うまくいかないことも多かった。実際に、私たちの活動によって仙台市営バスの財政課題を緩和させることはできなかったと思う。しかし、一人の仙台市民として、また市営バスの利用者として、バス事業をどのように回復させ今後も維持させていくのか考えることは大切なことだと思った。また、探究活動を通してさまざまな企業の方のお話を伺い、企業が普段どれほど利用者のために努力しているのか、また利益を出すために工夫しているのか身を持って知ることができた。この貴重な経験を今後活かしていきたい。

最後に、これまで探究活動に協力していただいた先生方、仙台市交通局並びに大阪シティバス、交通システム研究所の皆様に感謝を申し上げます。

### 【参考文献】

○内閣府 平成 28 年度「公共交通に関する世論調査」

<https://survey.gov-online.go.jp/h28/h28-kotsu/gairyaku.pdf>

○仙台市交通局

「経営改善に向けた取り組み」

[otsu.city.sendai.jp/kigyuu/keiei/managerial-betterment-effort\\_2021-2030.html](https://otsu.city.sendai.jp/kigyuu/keiei/managerial-betterment-effort_2021-2030.html)

「令和 6 年 4 月市バスダイヤ改正の概要について」

[https://www.kotsu.city.sendai.jp/bus/daiyakaisei/r5/r6kaisei\\_gaiyou.html](https://www.kotsu.city.sendai.jp/bus/daiyakaisei/r5/r6kaisei_gaiyou.html)

「お得な運賃制度・乗車券」

<https://www.kotsu.city.sendai.jp/fare/waribiki.html>

○Osaka Metro Group オンデマンドバス

<https://maas.osakametro.co.jp/odb/>

## Abstract

In recent years, Sendai City Bus's finances have been in the red. So we started this search to solve those problems. We did a lot of surveys such as making interviews with staff at various companies and visiting a bus stop near the tourist site. Based on them, we thought of a lot of solutions to increase the number of uses.

タブ 2



## 2) 仙台市交通局への訪問

私たちは赤字問題を解決する手がかりを得るために、仙台市交通局を訪問した。そこで、実際に仙台市交通局が経営改善に向けて行っている取り組みについて伺った。

### ①路線の削減

運行ダイヤは人の動きに合わせて毎年改正されている。近年は運転手人材の不足や利用者数の減少によって、3年連続で減便が続いている状況である。令和6年4月から実施されたダイヤでは、全44路線中30路線にて、前年度より計107便削減された。鶴ケ谷三丁目参考前のバス

	R5.4 現在	R6.4 改正後	増減数	増減比
週平均 (km/日)	32,537.0	31,615.9	▲921.1	▲2.8%
週平均 (便/日)	3,262	3,155	▲107	▲3.2%

停を通る鶴ケ谷・南光台線でも計22便削減されている。

### ②運賃の値上げ

仙台市営バスは令和7年10月より、運賃を平均15%値上げする方針を発表している。このような取り組みは資金不足比率の抑制につながっている一方、利用者の負担が重くなることでさらに利用者数が減少してしまう懸念もある。

仙台市交通局はこれまで、厳しい経営状況下においても学都仙台フリーパスの販売など増客、増収に向けた取り組みを実施することで、できるだけ減便を行わず運賃を据え置き、利用者の負担を増加させないよう努めてきた。しかし、費用の削減も限界に近づいている中で、路線を維持していくために、近年は減便や運賃の値上げが積極的に行われている状況である。

## 3) 瑞鳳殿付近のバス停調査

私たちは仙台市交通局で、近年 SNS で話題になった観光地で外国人観光客の利用が増えているというお話を伺い、宮城の観光名所である 瑞鳳殿付近のバス停を調査することにした。

